

# 卒業論文要旨

## LLMによる日本酒推薦システムの構築と嗜好構造の可視化

### Development of LLM-based Sake Recommendation System and Visualization of Preference Structures

宮内 悠丞

Yusuke Miyauchi

【背景・目的】近年増加する外国人観光客への新しいアプローチとして、本研究では、ユーザーの好みに合う日本酒を発見できる利き酒支援システムを開発した。

【システム構成】図1にシステム構成を示す。本システムはPython(Flask)およびSupabaseを用いて構築されておりユーザーの官能評価を自然言語プロンプトに変換しDify上のLLMが解析・推薦を行う。

【結果】図2は8名の実験による各評価項目の相関である。赤色は正、青色は負の相関を示す。図2の相関分析では「口当たり」と「キレ」の強い負の相関からデータの信頼性が裏付けられた。また、「総合評価」と「口当たり」の負の相関による淡麗志向やキレ重視のバランス等、嗜好構造が可視化された。以上より、本システムの外国人観光客への適用可能性が確認された。

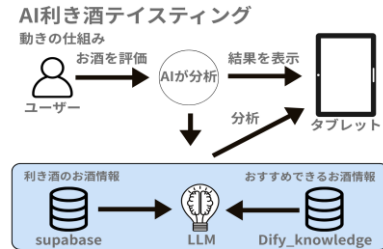


図1. システム構成図

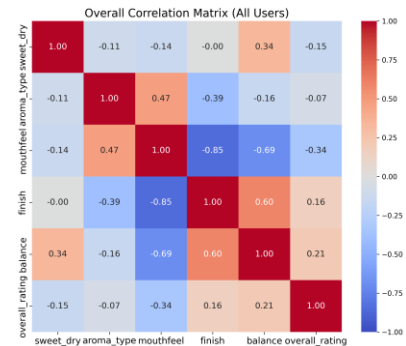


図2. 実証実験結果の相関図